

Comrade

Mandolin Ensemble

コムラード マンドリンアンサンブル 第45回 記念演奏会

The 45th Memorial Concert

指揮 高草木典喜 飯塚幹夫

演奏 コムラード マンドリンアンサンブル & 有志メンバー

第1部 指揮 高草木典喜

日本二十六聖殉教ミサによる 悲愴序曲「受難のミサ」 鈴木静一作曲

ルーマニア狂詩曲 第1番 G. エネスコ作曲 / 鈴木静一編曲

マンドリンソロ 小野智明 マンドラソロ 高橋喜広

第2部 指揮 飯塚幹夫

交響的大幻想曲「シルクロード」
鈴木静一作曲

2017年7月16日(日) 13:00 開場 14:00 開演

府中の森 芸術劇場 どりーむホール

- ・京王線 東府中駅(新宿駅から約25分、京王八王子駅から約20分)北口 下車 徒歩7分
- ・JR 武蔵小金井駅南口(5番乗り場)よりバス約20分、東府中駅下車 徒歩約7分
- ・JR 武蔵小金井駅南口(1番乗り場)よりバス約20分、第二小学校下車 徒歩約10分
- ・JR 武蔵小金井駅南口よりタクシーで約15分 1,400円程度

入場料：全席自由 ¥1,000

恐れ入りますが、未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取り扱い：府中の森芸術劇場 / 山野楽器 銀座本店 4F /
イケガク / 絃楽器のイグチ

後援：公益財団法人府中文化振興財団

協力：株式会社山野楽器



コムラード マンドリンアンサンブル公式ホームページはこちら

<http://comrade-mandolin.com>

スマホはこちらから→



本公演に関するお問い合わせはこちらの
「問い合わせフォーム」よりお受けいたします。→



交響的大幻想曲「シルクロード」曲目解説

<第1楽章 序曲 (西安の夜明けとキャラバンの出発)>

曲は不安定な前奏で始まる。この部分はキャラバンの困苦に満ちた旅程を暗示し、金管がキャラバンの主題を提示する。静かな鐘の音をギターがハーモニクスで奏し、帝都長安の夜が明ける。次に中国風のモティーヴが忙しく反復され、四方から王宮前の広場集まる人出の有様を描出する。今日は遠いローマから絹を求め派遣された使節の一行が帰るのである。銅鑼が鳴り、ホルンが出発のファンファーレを高く響かせ、数百のラクダで編成された壮大なキャラバンが出発する。

<第2楽章 死の砂漠と葱嶺 (ヒマラヤ) の出現>

長安を半年前に出発したキャラバンは、やっと沙州 (敦煌) で中国領土を離れ、楼蘭 (ロウラン) 一さまよう湖 (ロブノール) 一そして最初の難関タクラマカン砂漠に入る。来る日も砂の海の航海が始まる。乗る船は砂漠の船と呼ばれたラクダ。辿り着く島は水のある場所オアシスである。定まったルートは無い。砂漠の風は絶えず砂を移動させ、ラクダや人の足跡を消してしまう。彷徨が重なると、飢と渇きが人の命を奪う。倒れた人の遺骨がちりばり、鬼気が漂う。14世紀ここを通過したマルコ・ポーロの手記にもこの砂漠では度々亡霊の囁きや、すすり泣く声を聞いたと述べている。曲はそうした寂寥を陰うつにつづる。敦煌からタクラマカン砂漠最奥のカシュガルまでは我国の北海道から九州までと同等の距離があり、この踏破にほぼ半年が浪費される。そしてやっと死境を乗り越えたキャラバンの前途には、新しい難関が待ちかまえている。カシュガルの街が近づくにつれ、その後方には一連の高岳がせり上がる。これこそ世界の屋根といわれるヒマラヤである。カラコルムから伸びる山嶺はヒンズークシ山系とともにパミール高原を形作り、さらに北に伸びて天山山脈となり、ルートは完全にふさがれる。パミール高原を越える以外に道はない。高原といっても6000米突に近く、荒々しい岩山は千古消えることのない氷雪に埋もれ、氷河が舌端をさしのべている。天空高峰は、近づくにつれいよいよ高くなるのし上がり、キャラバンを威嚇する。

<第3楽章 緑の都サマルカンド>

パミール高原が全く高度を失うあたりは、ソグディアナ (西トルキスタン) であり、かつてのチムールの都サマルカンドである。サマルカンドは北のタシュケント、西のブハラとともに乾燥地帯の多い中央アジアにあって、豊富な水脈に恵まれ、緑の色濃い都で、四六時中小鳥のさえずりに包まれ、壮麗な回教寺院は円塔を碧空にそび立て、どこからか銅鑼の音が静かに響いてくる。ふりそそく鳥のさえずりにまじり、近くのバザールは喧騒と混雑でごったがえしている。ソグディアナ人、ウズベク人、イラン、トルコ、コタール、モンゴル等あらゆる種族の人間の展覧会である。大道芸人も多種多様である。はじめに現れたソグディアナのメロディーを押しつづぶすのはウズベクの民族楽で主奏楽器は唐のチャルメラに似た笛。アルペンホルンとそっくりのラッパはモンゴリア、リズムをきざむ手太鼓はタタール。それが幾組にも分かれ、負けず劣らずはやしたてるバザールの午後である。やがてその喧騒の彼方からホルンが奏するキャラバンの主題が聞こえてくる。パミールを越えてきたあの一隊である。土俗楽と主題が入り乱れ、難所を越え緑地に辿り着いた喜びを迎える人々の交歓を描く。

<第4楽章 蜃気楼とカラ・ブラン黒い嵐 (砂嵐)>

灼熱の太陽の照りつける下で、風は落ち空気がカラカラに乾き、何もかもが燃えだすように熱っさきっている。疲労困憊したキャラバンの中から歓喜があがった！ギラギラと陽炎の燃える砂漠の地平線に突然大いなる湖が出現したのである。水だ！ いや、水だけではない。モスクの尖塔が、人家が、歩く人の姿まで見える。街だ！ 街に着くのだ！ しかし、これは蜃気楼なのである。それはつかの間の喜びをよそに消える。砂漠では蜃気楼の現れた後は必ず暴風が起る。はたして人々は、今一大湖水の現れたあたりに真っ黒な竜巻を突見し戦慄する。それは見る間に接近し、猛然キャラバンを襲う。今まで白熱光を投げかけていた太陽は黒い砂のスクリーンに赤黒くぼやけ、天地は夜の黒衣に包みこまれ、吹き上げられる砂は人もラクダも埋め尽くそうとして荒れ狂う。これこそ砂漠地帯でもっとも恐れられるカラ・ブランである。

<第5楽章 バグダードの夕昏と夜>

真夏の炎熱にすべての機能を停止していた砂漠の都市サラセンの都バグダードは、夕昏が近づくにつれ、ものうく動き始める。人々の行動は傾く夕陽とともに活発になる。突如！モスクの廻塔から絶叫するような男の歌声が起り、人々は一斉に地にひれ伏す。歌声は回教の夕への祈り「大いなる我等の神アラー」の唱経である。ひれ伏した人々は遙か南方のメッカを遙拝する。唱経の声は再び活動を停止され、物音のなくなった街に響き渡る (ソロマンドリン)。唱経の声が地平に沈む陽とともに長く尾を引いて消えると、静寂にどざされていた街は騒然と動き出す。そして詩人は詩を一首い女は歌を一踊り子は踊りを一といわれた絢爛たるバグダードの歓楽の夜がくる。(マンドリン・ソロの後から始まるこの部分は優えんな女の踊り、荒々しい男の踊りでひとつのピークを作り、酒宴の狂騒に終わる)

<第6楽章 月下のキャラバンと襲う群盗>

バグダードからバルミラを経、タマスキが近づくといく手に一連の山脈を見る。その彼方はイスラエル。懐かしい地中海が拡がっているのだ。キャラバンは今夜のセライ (宿所) をとばし、夜も旅を続けている。屋の炎熱も消え、涼しい風が吹く。ふりそそく月光に誰か？ 郷愁を誘う笛の音が流れる。突然この平和なひと時は破られる。何者が騎馬の一行がキャラバンを遠巻きにとり囲む。この辺りは野盗の巢窟として恐れられている死海も近い。群盗はしだいに包圍の環を縮める。遂に凄惨な戦闘が始まる。野盗は騎馬の駆け退きが素早い、キャラバンにも強力な武装がある。激しい戦闘の結果、群盗は撃退される。しかしキャラバンも痛手を受ける。

<第7楽章 地中海の静かな船旅 (リュートの歌)>

長い長い苦難に充ちた砂の海の旅は終わった。砂漠の船ラクダに別れ、紺碧の海の航海である。この部分はギターだけの四重奏で優雅なリュート音楽として奏され、曲は停止することなくそのまま…

<第8楽章 ローマへの帰還 (アッピア街道)>

イタリアの南端に近いプリンジニに上陸した一行は休む間も惜しくローマへ向かう。「すべての道はローマへ」この道こそローマに集中する街道を代表するアッピア街道である。鈍重なラクダに代わった馬の軽快な足どりさえももどかしく、終結に急ぐまじぐらの行進。一行全体の心は喜びを超え、緊張に追いやられる。イタリアも南下すると、あの苦しみを重ねた砂漠地帯を回想させる乾燥した地帯が続く。それも北上するにつれ、次第に姿を消し緑の色彩が地表をこまやかににおい始める。一行は沿道の村人等の歓呼を浴び、帰郷の喜びをかみしめる。馬の足をもつてもなお、数日の旅が続くが、碧空にそびえるモント・メタの山影を東に臨むようになるとローマは近い。糸杉の林が連続し、さらに傘松の並木が街道の左右に見られるようになると、いよいよローマが近づく。一行は遂に前方にローマの片影を認め、息をつめる。踊るように快走してきた曲調は突如、音をひそめ極度の緊張に陥る。7つの丘、ローマを囲む赤い城壁、その中に林立する塔。ああ、ひととき高くサンピエトロ大聖堂も見えてきた。クライマックスに向かい増幅増速を重ねてきた曲は遂に爆発する。ローマの入口、サン・セバスチアンの門をくぐる！ 聖歌を想わせる和音の展開につれ、鐘が鳴り、その中で金管が高くキャラバンの主題を絶叫し、この大幻想曲の終局を飾る。

マンドリン、クラシックギターのご用命は 山野楽器 銀座本店 4 F へ Tel: 03-5250-1065 (直)



クラシックギターは、初心者モデルから世界の逸品まで、常時40本以上の豊富な品ぞろえの中からご選定いただけます。



落合、宮野、大野からカラーチェまで、試奏していただけます。



厳重な湿度管理のもと、最高のコンディションが維持されています。